

追加資料【第2回秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会】(令和5年3月2日開催)

令和4年度 新津中央地区地域福祉懇談会(新年度打合せ会議)報告

日時：令和4年8月5日(火)14:00～15:00

会場：新津地域交流センター (203・204 研修室)

【出席者】地域福祉活動計画実行委員会：中村会長(コミ協会長)、小野沢委員(コミ協副会長)、本望委員(コミ協事務局長)、辻川委員(コミ協会計)、(敬称略) 三澤委員(健康福祉部長、支え合いのしくみづくり会議構成員)、松澤委員(新津中央地区民協会長、支え合いのしくみづくり会議構成員)、山口委員(一小地域教育コーディネーター)、五十嵐委員(新津本町4-2区町内会長)、田村(安達委員(秋葉3丁目町内会長)の代理)、石川委員(吉岡町会長)、池野委員(一中地域教育コーディネーター)、菅井委員(一中地域教育コーディネーター)  
秋葉区社協：横山(地区担当)、加藤 SC

【内 容】

課 題	R4年度の取り組み	備考
<p>* 高齢化に加え、コロナ禍で行事開催が難しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平均年齢80歳代で超高齢化が進んでいる。</li> <li>高齢化で老人クラブが無くなっている。</li> <li>町内会等の担い手不足で、運営の引き継ぎができない。</li> <li>日当を出しても協力者が少ない。</li> <li>高齢者が高齢者を支えている現状がある。</li> <li>町内行事への参加者が少ないが、参加したいと思う計画の工夫が必要である。</li> <li>PTAを巻き込んだ活動をしたが、コロナが収まらないと難しい。</li> <li>できるだけ集まる機会をつくろうと考えている。(秋葉3)</li> <li>コロナ禍により納涼会等の行事を中止している。</li> <li>75歳以上の方に、お祝いを持って状況確認をしているが、人に迷惑をかけたくないと思っている方が多い。</li> <li>家族調査をしたところ、65歳以上が40%と高齢化が進んでいる。敬老祝い金の継続が難しくなった為、</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li><b>緊急情報キット配布及び更新作業の継続</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>自治会・町内会との連携</li> </ul> </li> <li><b>ラジオ体操の普及</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>自治会・町内会や交流センターでのラジオ体操の継続</li> <li>町内でのラジオ体操の活動を広げていく。</li> <li>体操を通じた健康づくりと住民同士のつながり</li> </ul> </li> <li><b>交流やつながりの機会を検討</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍の工夫をした、町内行事を考えていく。</li> <li>PTA、老人会等と連携した交流活動を検討。(環境・花壇整備などを通じた多世代交流)</li> <li>敬老会実施に向けた工夫を検討。</li> <li>町内会・PTA・老人クラブと情報交換会の開催</li> </ul> </li> </ol>	<p>コミ協(健康福祉部) 自治会・町内会</p> <p>コミ協(地区社協) 自治会・町内会</p> <p>コミ協(地区社協) 自治会・町内会</p>

## 令和4年度 新津西部地区地域福祉懇談会(新年度打合せ会議)報告

日時：令和4年7月27日(火)15:00～16:00

会場：コミュニティスペースやまや

【出席者】新津西部コミ協：蓮沼会長、内田副会長(支え合いのしくみづくり会議構成員)、小松副会長、小菅副会長、斉藤事務局長

新津西部地区社協：奥山会長(兼コミ協副会長)

新津西部地区民協：佐藤会長

秋葉区社協：横山(地区担当)、加藤 SC

### 【内 容】

課 題	R4年度の取り組み	備考
<p>*コロナ禍で交流の妨げになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1人暮らし高齢者、高齢者のみ世帯の増加</li> <li>・コロナで敬老会等の町内行事が実施できなくなっている。</li> <li>・高齢化による外出や交流の機会減少</li> <li>・人と人との関わりの希薄化</li> <li>・子どもたちが、地域イベント(交流)や学校行事等で、当たり前で学んでいた人との関りや経験がなくなっている。</li> <li>・公会堂の老朽化の為、コミ協スペースでのサロン立上げを検討(天神)</li> <li>・サロンの立上げを検討している。(美善町)</li> </ul> <p>・自分で買い物や通院に行けなくなる問題が今後出てくるのが想定される。</p>	<p><b>1 緊急情報キット配布及び更新作業の検討</b></p> <p><b>2 町内会主催の敬老会等の行事への協力支援</b></p>	<p>コミ協 地区社協</p>
	<p><b>3 交流やつながりの機会を検討</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・居場所の立上げ (天神、美善町、子どもの居場所)</li> <li>・フレイル予防</li> <li>・サロンの継続、運営支援</li> <li>・見守りへの取り組み(犬の散歩やあいさつからつながりをつくることも考えられる)</li> <li>・災害時に備えた訓練等の実施(町内会単位)</li> <li>・世代間交流</li> </ul>	<p>町内会 コミ協 地区社協</p>
	<p><b>4 生活支援の検討</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活交通(買い物・通院)支援の検討(将来的に)</li> <li>・いきいきサロン新栄町への送迎の検討 (親和福祉会との連携)</li> <li>・みゆきビジネスの継続</li> </ul>	<p>コミ協 地区社協 町内会 社会福祉法人</p>

課 題	R4年度の取り組み	備考
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウオロク裏の開発による交通量増加、交通事故が懸念される</li> <li>・夜間にタバコ等のポイ捨てがあり町内が汚れている</li>   <li>・美善町、さつき野2.3丁目、北上新田は児童の割合が高いが他の町内は高齢者の割合が高い。数値分析を通しての取り組みを検討することも大事である。</li> <li>・同じ西部地区内で小学校区(一小・三小)が混在。コミ協、町内会、民協の組織のあり方を連携して検討する必要がある。</li> <li>・各組織の担い手不足</li> </ul>	<p><b>5 その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通量調査(行政への問題提起、地域による確認)</li> <li>・公園等の美化活動(美善町、美幸町)</li> <li>・町内の実情(人口構成等)を考えた取り組み</li> <li>・地域課題への取り組みが進められるように、各組織の見直しをコミ協、町内会、民協が連携して検討</li> <li>・空き家問題</li> </ul>	<p>町内会 コミ協 地区社協</p>

## 令和4年度 荻川地区地域福祉懇談会(新年度打合せ会議)報告

日時：令和4年8月2日(火)13:30～14:30

会場：荻川コミュニティセンター（大会議室）

【出席者】 荻川コミ協： 加納副会長、関副会長(荻川地区社協代表)、鈴木事務局長  
 (敬称略) 荻川地区協議会：五十嵐会長(中野3会長)、田中副会長(あおば通会長)、田村事務局長(中野5会長)  
 荻川地区民協：阿部副会長、高橋会計／支え合いのしくみづくり会議：和田構成員(車場寿会会長)  
 荻川地区社協：星副代表、関 道子副代表、服部副代表、五十嵐スタッフ、曾我スタッフ、石井スタッフ  
 秋葉区社協：横山(地区担当)、加藤 SC

### 【内 容】

課 題	R4年度の取り組み	備考
<p>*コロナ禍と高齢化で外出や交流の機会減少している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おぎかわあったかネットと民生委員がつながっていない。約束ごと等決められると良い。</li> <li>・おぎかわあったかネットが荻川地区全域での実施に至っていない。</li> <li>・見守りに遠慮があり手挙げが少ない。</li> <li>・コロナ禍で防災訓練を3年位できていない。災害に誰もあっていないので、身近に感じられない。動ける人がいない。</li> <li>・災害が発生した場合、マンパワーが無い。かけつけてくれたボランティアをどう活用するのか。</li> <li>・防災について原点を見つめる必要がある。どういう準備が必要か、整理ができていない。</li> <li>・家族の中に障がい者がいる世帯で、親が面倒を見るから良いと言われた。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li><b>1 おぎかわあったかネットの拡充を図る</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未実施の自治会・町内会への働きかけ</li> <li>・各町内の組単位で気にかけて合うことを啓発</li> <li>・訪問を通じた信頼関係づくりを継続(体調不良、早期発見、変化への気づき)</li> </ul> </li> <li><b>2 緊急情報キット配布及び更新作業の継続</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規配布対象者の把握</li> <li>・フォローによる情報用紙記載内容の更新</li> </ul> </li> <li><b>3 「我が家の避難所」の配布を継続</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ステッカーを配布し、避難行動の意識を高める。</li> </ul> </li> <li><b>4 防災訓練等の取り組み</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所単位、自治会・町内会単位の訓練を検討</li> <li>・避難所運営会議に関する検討</li> <li>・避難行動要支援者の支援のあり方を検討</li> </ul> </li> </ol>	<p>コミ協 地区社協 自治会・町内会</p> <p>コミ協 地区社協 自治会・町内会</p> <p>自治会・町内会</p>

課 題	R4年度の取り組み	備考
<ul style="list-style-type: none"> <li>・移動手段が無く外出しづらい。</li> <li>・やすらぎの間利用者の高齢化に伴い参加者減少。</li>   <li>・いきいき塾は高齢者の健康づくりに役に立っている。</li> <li>・老人クラブ(車場)では、コロナに負けないように皆で集まれないかということで活動している。あったかネットの協力員として訪問した。民生委員の活動や見守りの大切さを確認した。</li> <li>・荻川の子ども人口に対して、子ども食堂に来る率が低いと感じる。</li> <li>・子ども食堂とは何か、原点をしっかりとつかむ必要がある。</li> <li>・7月に立ち上げた川口の「ほうかご広場」には参加者が来なかった。</li>   <li>・コロナ禍である今のうちに、組織づくりが大切ではないか。</li> <li>・支え合い活動は、自治会・町内会がとても大事である。自治会・町内会長に、支え合いのしくみづくり会議の構成員に入ってもらえないか。</li>   <li>・交流や体を動かす機会の減少(子ども自身も体を動かしたい)。</li> </ul>	<p><b>5 荻川やすらぎの間の充実を図る</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・互いのつながり、介護予防、認知症予防で支え合う地域の茶の間運営の継続</li> <li>・民協等と連携し、参加者を増やす。</li> <li>・参加者送迎の実施に向けての検討(藤の木原福社会と連携したしくみづくり)</li> </ul> <p><b>6 いきいき塾と支え合い、老人クラブと地区社協活動との連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いきいき塾の活動を福祉的観点から評価し、活発化に向け支援する。</li> <li>・地域の支え合いを老人クラブとしても役割としてお手伝いをしたい。</li> </ul> <p><b>7 子どもの居場所の充実を図る</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おぎかわ子ども食堂のPRの工夫を検討</li> <li>・川口ほうかご広場への支援</li> <li>・子どもとの関わりを大切にする地域づくり</li> </ul> <p><b>8 除雪の助け合い活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・除雪活動の継続(車場5、中野2、こがね町)</li> <li>・できることから検討</li> </ul> <p><b>9 その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・荻川地区福祉推進連絡会議を開催(年2回)し、各組織と連携しながら、福祉活動を推進する。</li> <li>・地域と小中学校との関係づくり</li> <li>・取り組みについては、課題を検討しながら進める。</li> <li>・ラジオ体操の実施(あおば通)</li> </ul>	<p>コミ協 地区社協 社会福祉法人</p> <p>コミ協 いきいき塾 老人クラブ 地区社協</p> <p>コミ協 自治会・町内会</p> <p>自治会・町内会</p>

<p>福祉懇談会（満日地区）</p> <p>日時：令和4年9月18日（日）13：30～15：00</p> <p>会場：旧満日小学校体育館</p> <p>※アンケート調査の実施</p> <p>対象27名内15名より回答 回収率55.56%</p>	出席者
	<p>満日コミ協：長谷川実会長、菅井副会長、皆川副会長、柳澤副会長、帆苺正悟会計、</p> <p>杵鞭義夫事務局長、坂爪事務局次長、田中参与、渡辺誠一総務部長、小檜山教育・文化部長、</p> <p>昆環境・安全部長、高橋福祉・健康部長</p> <p>満日コミ協社会福祉部特別部会：北上部員、杵鞭美枝子部員、長谷部部員、帆苺正好部員、山田部員、</p> <p>帆苺征子部員、小池部員、佐藤部員</p> <p>七日町町内会：渡辺敬二副会長</p> <p>満願寺町内会：神田氏</p> <p>阿賀小学校満日PTA：長谷川誠委員長、石川副委員長</p> <p>秋葉区健康福祉課：相馬課長</p> <p>秋葉区社協：横山事務局長補佐、佐藤地区担当、宮腰 SC</p>

課題	取り組み	備考
<p>○住みよいまちづくりについて</p> <p>・子供から高齢者まで笑顔が絶えない楽しい満日が福祉のキーワード。どう作り上げていくか。</p> <p>→一人暮らしから大家族まで多様化している。</p> <p>→誰がやるか主体が見えない。</p>	<p>○住みよいまちづくりについて</p> <p>・問題点を拾い出し、検討会を立ち上げ解決に向け動く。委員には若い人、PTA や消防団に入ってもらおう。</p> <p>→隣組が一番近隣の状況が分かるため隣組で意見を集約し、PTA は PTA で意見を集約し検討する。</p> <p>→参加型のイベントを行うと良い。</p> <p>→福祉施設の人達を巻き込んだイベントを検討する。</p> <p>・コミ協の事業のやり方、進め方にも再検討が必要。町内会と常に打ち合わせをしながら進めていく。</p> <p>→課題を一つ一つ整理し検討し、まとめていく中で整頓できると良い。</p>	<p>コミ協</p> <p>地区社協</p> <p>自治会町内会</p> <p>PTA</p> <p>消防団</p>

課題	取り組み	備考
<p><b>○地域行事について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・花植え・収穫祭は子どもの参加有り。地域と子どもの交流の場となっているが、コロナ禍でもあり参加者が少ない。</li> <li>・町内で祭りがあったが現在はない。何かしたいと思うができていない。(七日町)</li> <li>・寺小屋みたいに年配の人から折り紙など色々教えてもらう機会を作ってほしい。体育館を開放してほしい。</li> </ul>	<p><b>○地域行事について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も若い人の考えを取り入れると良い。PTA に働きかけ企画段階から入ってもらい計画する。参加型のイベントがあると良い。運動会、輪投げ、グランドゴルフなど。</li> <li>→PTA は働いているため毎回出席することは難しいが、前向きに検討する。</li> <li>・子供の見守り・遊びの提供など、子どもの居場所が立ち上げを検討する。</li> </ul>	<p>コミ協 地区社協 自治会町内会 PTA</p>
<p><b>○明るく元気な地域づくりについて</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世代間交流として花植えや賽の神などの行事を、癒やしの福祉ゾーンでできると良いが、公園整備事業から外れ市からの助成対象外となる。</li> <li>→財源の確保が必要となる。</li> </ul>	<p><b>○明るく元気な地域づくりについて</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・B&amp;G を活用し満日の芸能祭と癒やしの福祉ゾーンの福祉祭りを合同で開催できないか検討する。けやき福祉園で以前行っていたジャズ演奏も含めて検討する。</li> <li>・花をけやき福祉園から購入している。繋がっていけると良い。</li> <li>・今後、癒しの福祉ゾーンとの交流を検討する。</li> </ul>	<p>コミ協 地区社協 自治会町内会</p>
<p><b>○安全で安心な地域づくりについて</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時に発令・発表される、防災情報の警戒レベル3(高齢者等避難)を、地域にどのように通達するか課題。</li> <li>・高齢者は足腰が弱くなりコミセンまで歩くことが難しい。</li> </ul>	<p><b>○安全で安心な地域づくりについて</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・75 歳以上を対象とした防災訓練の実施を検討する。</li> <li>・役割を確認する。</li> <li>→各町内の自主防災組織は住民を避難所まで避難させる。コミ協は避難所の運営を担当する。</li> <li>・防災に関しても基本は隣組。誰が避難できないか把握できているため、隣組で要支援者を救助する体制を作れると良い。</li> </ul>	<p>コミ協 自治会町内会</p>

<p><b>○相談しやすい体制づくりについて</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今までは隣同士の繋がりがあがるが今後は難しい。高齢者や認知症の人が増えるにあたり、隣組での情報交換が重要となってくる。</li> <li>・日ごろ高齢者の声かけ・相談を受けているが、個々の状況が違ってきている。高齢者に対する取り組みは大切である。</li> <li>・高齢者の一人暮らし等大変な世帯が増えている。</li> <li>・まんまるクラブ(居場所)の利用者が少なくなっている。</li> <li>・若い世代を巻き込み顔の見える関係づくりが必要である。</li> <li>・公共交通機関がない。</li> <li>・お茶の間・買物・通院の移動に困っている。</li> </ul>	<p><b>○相談しやすい体制づくりについて</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・困りごとの事象に対応できる連絡先の配付を検討すると良い。</li> <li>・癒しの里連絡協議会の協力を得て、買い物支援を検討している。</li> </ul>	<p>自治会町内会</p>
--	--	---------------



福祉懇談会（東部地区） 日時：令和4年8月18日（木）10:00～11:15 会場：勤労青少年ホーム ※アンケート調査の実施 対象41名内32名より回答 回収率78.05%	出席者
	新津東部地区社協：古川会長、石澤副会長、中野副会長、徳永会計監査、小林委員 秋葉区健康福祉課：相馬課長、齋藤係長 秋葉区社協：坂井事務局長、横山事務局長補佐、佐藤、市橋、宮腰

課題	取り組み	備考
<b>コミ協への理解</b> ・コミ協活動が地域の皆さんに周知されていない ・コミ協活動に関心をもってもらうにはどうすれば良いか <b>活動計画への理解</b> ・活動計画を地域の皆さんがどのくらい理解、興味をもってくれるか ・地域活動に参画してもらうには、どうしたらよいか	<b>コミ協の基本理念・基本目標に沿ってすすめていく</b> ・コミ協活動の周知 →地域の皆さんの意識を高めるには、周知方法の検討等が必要である ・コミ協と自治会・町内会役員が協働し、様々な活動に取り組めるよう工夫・検討する ・コミ協活動に参画や、地域の皆さんの理解を得られるような工夫を検討する <b>意識の向上を図り、取り組みへつなげる</b> ・様々な会議の報告をするしくみを検討する ・支え合いのしくみづくり会議等、会議の内容を回覧板やメールで報告する	コミ協・地区社協  コミ協  コミ協・自治会町内会  コミ協・地区社協
<b>自治会、コミ協役員の高齢化</b> ・少子高齢化で役員の担い手がない ・世代交代、後任者育成	<b>各世代の参画や女性役員の登用など検討</b> ・地域の若い世代からコミ協、自治会・町内会活動に興味を持ってもらう機会を設ける ・役員に女性の登用も考える(新しい視点がある)	コミ協・地区社協 自治会町内会

課題	取り組み	備考
<b>体制づくり</b> ・単一自治会・町内会だけでは対応が難しい →コミュニティ単位で対応	<b>情報交換</b> ・地区内や自治会・町内会内にある様々な団体の代表に集まってもらい意見交換会を開催する →地域の皆さんの交流の場につながる	コミ協・自治会町内会
<b>行事、交流の場</b> ・コロナ禍で行事・交流の場が減少し参加者も減少傾向にある ・地域の皆さんがどんな行事・内容を望んでいるのか具体的に知りたい	<b>取り組み</b> ・交流の場「新津川〜〜〜」大変好評だった →今後も継続していく ・行事の開催 →多世代交流、コミ協事業に関心を持ってもらうきっかけにしていく ・巡回型事業を検討する ・隣接コミ協との情報交換や交流なども検討する ・自治会・町内会の多世代交流事業に対して助成・応援を行っている →今後も継続していく ・反省会を兼ねた懇親会を設定(男性の参加が見込まれる)	コミ協・地区社協 自治会町内会
<b>見守り、相談</b> ・一人暮らしや高齢者のみの世帯が増えている →ゴミ出しが難しくなる場合が多い →見守りが必要な世帯が増えている →困った時の相談相手が必要	<b>見守り方について</b> ・見守りを地域単位で実施する ・サロンが見守りの場になっていると再認識したため、継続し支え合いへ繋げていく ・福祉委員に相談しやすい環境づくりを検討する ・地域の皆さんがふれあえる場を設け、地域の助け合いや見守りに繋げていく	地区社協・福祉委員 自治会町内会

<p><b>災害時</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時支援につなげるために、日頃から地域を超えた助け合いが必要</li> </ul>	<p><b>地域を超えた助け合い</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時、新津東部地区内で助け合えるしくみを検討する</li> </ul>	<p>コミ協・地区社協 自治会町内会</p>
<p><b>孤立死、孤独死への対応</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・早めに気付くことのできるしくみが必要</li> </ul>	<p><b>高齢者の閉じこもり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃らご近所との良い関係づくりが必要となる</li> <li>・予防のために行事等の参加を促す</li> <li>・向こう三軒両隣の大切さを啓発する</li> </ul>	<p>自治会町内会</p>

福祉懇談会（阿賀浦地区） 日時：令和4年8月25日（木）13：30～15時 会場：勤労青少年ホーム	出席者
	阿賀浦コミ協：早川会長、湯田事務局長、鈴木社会福祉部委員、高橋社会福祉部委員 新金沢町自治会：柿本自治会長、重川氏、田中氏 東金沢自治会：遠藤自治会長、遠藤氏 大安寺自治会：坂口自治会長 徳永主任児童委員 中新田自治会：荒木自治会長、佐藤民生委員 秋葉区社協：横山事務局長補佐、佐藤、宮腰、吉田実習生

課題	取り組み	備考
<p>○緊急情報キットについて</p> <p>昨年度、コミ協全体で緊急情報キットを配付</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・配布されたままになっている人がいる</li> <li>・情報用紙を書けない人がいる</li> <li>・書いてあげたいが個人情報のため躊躇される</li> <li>・今後配布数が増えると、民生委員さんだけで配るのは難しくなる</li> <li>・救急隊は緊急情報キットを確認しているか？</li> </ul>	<p>今年度は新規配付と更新を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規 「緊急情報キットの申し込みについて」の案内チラシ（全戸配付分）をコミ協で準備し、9月1日から各自治会・町内会で配付する 希望者には全世帯無償で配付する（有償分はコミ協で負担）</li> <li>・更新 配付済の世帯には、訪問し情報用紙の更新を促す  <b>《大安寺自治会》</b>            緊急情報キットは75歳以上希望者に配付している            今年75歳になる世帯にも訪問し配付する  <b>《東金沢自治会》</b>            10月末に老友会で訪問し確認を行う予定  <b>《東町町内会》</b>            訪問し声を掛け確認を行う予定</li> </ul>	<p>コミ協・地区社協 自治会町内会</p>

課題	取り組み	備考
<p>○見守りについて</p> <p>《新金沢町自治会》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年に他地区の事例を参考に見守り体制を創設し冊子も作成(全戸配付)した。</li> <li>・組長に見守りをお願いしているが、3ヶ月で交代のため、引継ぎが上手くできていないこともあり課題となっている。</li> </ul>	<p>《コミ協としての取り組み》</p> <p>次回の懇談会までに各自治会・町内会で、見守りの方法や課題を検討する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急情報キット更新確認のために訪問する</li> <li>・緊急情報キットを利用して見守り対象世帯を把握する</li> <li>・民生委員さんは日頃見守り活動を行っている →新たな見守り活動だけではなく、民生委員さんを支援する</li> <li>・サークルや同好会などで見守りを広げていく</li> </ul>	<p>コミ協・地区社協 自治会町内会 民生委員</p>
<p>○災害時の避難所運営委員会の組織化について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・秋葉区には43か所の避難所があり、21か所の避難所で組織が立ち上がっている。</li> <li>・阿賀浦地区には避難所が5か所ある</li> <li>・大安寺・東金沢・中新田は阿賀小学校</li> <li>・新金沢町は新津第五中学校</li> <li>・東町は地域学園・勤労青少年ホーム・新津工業高校</li> </ul>	<p>組織の立ち上げについて検討する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大安寺・東金沢・中新田は区の担当と相談している</li> <li>・東町は委員を13名に依頼、勉強会を検討している</li> </ul>	<p>コミ協・自治会町内会</p>

福祉懇談会（新関地区） 日時：令和4年9月15日（木）10：00～11：30 会場：新関コミュニティセンター	出席者
	新関コミ協：渡辺会長、長谷川副会長、山崎会計、松田児童クラブ運営部長、松屋構成員 秋葉区社協：横山事務局長補佐、佐藤地区担当、宮腰 SC

課題	取り組み	備考
<p>○自治会によって行事など取り組みに温度差がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会長が2年任期で交代のため継続しにくい。            (R42自治会、R5:6自治会が交代)            →自治会活動に長年携わって活動している自治会は良いが、短期間で交代される自治会は難しい。            →取り組み方など悩んでいる自治会には、やり方など支援してもらえないか。            →防災について声掛けはコミ協が担当。各自治会は自主防災が担当しているため対応が異なる。</li> </ul> <p>○後継者不足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定年の延長及び定年後も働いている人が多い。</li> <li>・若い人がいない。            →仕方なく役員を引き受ける。</li> </ul> <p>○コロナ禍で行事が中止</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民が集まる機会がなくなり、関係性の希薄化が進んでいる。</li> <li>・サロンの再開も難しい。</li> </ul>	<p>○防災事業について(6月実施済)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・阿賀野川が氾濫した時の水位が、ハザードマップでは分かりにくかったため、電柱等に氾濫時の水位表示板を設置した。            (高齢者がハザードマップを理解することが難しい面がある)</li> <li>・6/15 三者(小学校・保育園・コミ協)合同避難訓練の実施及びコミ協・小学校の備蓄品を確認</li> <li>・6/26 新関防災の日(各自治会とコミ協で連携した取り組み)            →各自治会で安否確認を行いコミ協へ報告            訓練の内容は各自治会に一任            六郷 コミセンへの避難訓練実施(30名参加)            要支援者の見守り(1人に対して3人で対応)            行政の名簿+地域の名簿で対応している            小口 要支援者の担当が決まっている            行政の名簿を基に自治会で本人から承諾を得て名簿を作成している。訓練時に顔合わせを実施            市新・下新 担当者制等取り組みなし</li> </ul>	<p>コミ協・地区社協 自治会町内会</p>

課題	取り組み	備考
	<p>○防災事業について来年度に向けた今後の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会への意識づくり。</li> <li>・自治会判断のためのマニュアルが必要ではないか検討する →防災訓練後に自治会同士の交流会・勉強会を検討する。 研修会で防災意識の醸成を図る。 自治会間の温度差の減少を図る。</li> </ul>	<p>コミ協・地区社協 自治会町内会</p>
	<p>○コミ協行事再開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10/15-16 新関ふれあい祭り・作品展開催予定 昨年はコロナ禍で作品展のみの開催だったが、地域からふれあいまつりも再開してほしいと要望があり、今年は再開予定。 →地域がつながる機会を増やす。</li> </ul> <p>○茶の間・サロンの開催状況及び自治会活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>六郷・市新 継続して開催中</li> <li>下新 休止中</li> <li>岡田 サロンの立ち上げを働きかけたが、行っていない。 →地域行事があり参加者も多い。また、サロンがなくても住民同士の交流がある。</li> <li>新関 老人クラブの活動があり、その一つにサロンがある。</li> </ul> <p>○自治会活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>六郷 子ども農園を開催(月数回) →子どもと老人クラブで畑を作り野菜を育てている。 子どもの親の参加もあり、多世代の交流の場となっている。</li> <li>小口 住民が集まる機会を作る(グランドゴルフなど)</li> </ul>	<p>コミ協・地区社協  自治会町内会</p>

福祉懇談会（小合地区）  日時：令和4年8月4日（木）10:00～11:30 会場：小合地区コミュニティセンター	出席者
	小合コミ協 古田会長、田村副会長、野瀬山副会長、稲月副会長、丸山副会長、大竹事務局長 小合地区社協 吉田幹事、小林幹事、田村幹事、星野幹事、今井幹事、江口幹事 小合地区民児協 渡邊副会長、今井民生委員 秋葉区社協 横山事務局長補佐、藤田、時田

		評価・課題	取り組み	
高齢者	見守り	<p>（高齢化）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・耳が遠いがおしゃべりを楽しみにしていて訪問を喜ばれている。</li> <li>・訪問し話をするが、耳が遠く会話が難しい。</li> <li>・歩行が大変な方へは中に入って話をするなど、対象者に合わせて対応している。</li> </ul> <p>（取り組み方）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寂しそうにしている訪問すると喜ばれるが、次の訪問先もあることからゆっくりと時間が取れない。</li> <li>・2人で訪問するのがいい。</li> <li>・耳が遠い方には顔を近づけて話さなければならず、コロナ禍で続けていくにはどうしたらいいのか。</li> <li>・町内会長が行っているところが多いが、分担し、みんなで見守っていることを伝えることも大事である。</li> <li>・きざみ食が必要な方もいて、そういう対応ができるとうい。</li> <li>・おせちを届けるというより見守りが大切である。</li> <li>・対象者の条件に当てはまらなくても必要だと感じる世帯がある。</li> </ul>	<p>■なじらて訪問</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の協力と連携で継続</li> <li>・状況を確認、共有する場</li> </ul> <p>■おせち料理配食事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの協力 （手紙でのつながりから）</li> <li>・地区としての対応を検討</li> </ul> <p>■友愛訪問</p> <p>■見守りの情報共有</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見守りの情報共有と整理</li> </ul>	<p>地区社協</p> <p>地区社協 民生委員</p> <p>民生委員</p>



高齢者	見守り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋葉区全体を同じ方向に向かせるのは難しい。その地区で考えていくことが大事であり、地区ごとにひとつひとつやっていくことが大事である。</li> </ul> <p>(連携)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・離れて暮らす家族とも連絡が取れるといい。</li> <li>・老人クラブや町内と連携することで成功する。</li> <li>・サロンや民生委員が協力して地域が一つに顔が見える関係で行えたことがよかった。</li> <li>・地域の子どもたちも一緒に取り組めたらいい。</li> </ul> <p>(近所づきあい)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・畑を通じて近隣の高齢者と会話ができるようになり、会話をすることを大変喜ばれている。</li> <li>・年代が上の方とあまり接点がない。</li> <li>・新しい地域で交流がなく、溶け込んでいないと感じる。</li> </ul>		
	居場所	<p>(高齢化)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サロンには高齢で行けない。</li> <li>・サロンに行けない方の自宅で出前サロンを行ったところ好評だった。</li> <li>・耳の遠い方は話が聞こえず参加しても面白くなく、参加しなくなってきた。</li> </ul> <p>(コロナ禍)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会がコロナで活動を自粛しているため、サロンもその方針に従わないといけない。</li> <li>・コロナ禍でサロンをやめてしまうと居場所がなくなってしまう。</li> </ul>	<p>■いきいきサロン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営方法の検討など、継続できるよう支援</li> </ul>	<p>地区社協 各サロン</p>

	居場所	(運営) <ul style="list-style-type: none"> <li>• 若い世代は仕事があり参加できない。</li> <li>• 色々と試みても成果がないと意欲がなくなってくる。</li> </ul>		
高齢者	認知症	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 認知症は急激に進行する。</li> <li>• 認知症の方にも声をかけてサロンに来てもらっている。</li> <li>• サロンでの見守りは大きな力になっている。</li> <li>• 対応が難しいところもあるが、講演会など聞いて参考にしている。</li> <li>• 地域住民で理解が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■認知症講演会</li> <li>• 住みやすい地域になるよう認知症の理解を広げる</li> <li>• 行事への参加等通して認知症予防を進める</li> </ul>	コミ協
	生活支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 除雪、買い物、ゴミ出しなどに困っている方もいる。</li> <li>• 買い物や除雪など組織をつくれたらいい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■生活支援</li> <li>• 組織的な活動の検討</li> <li>• 活動に対する地域の理解</li> </ul>	
子ども	交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>• コロナの影響で親子食堂を開催できていない。</li> <li>• 子ども食堂など、各地区で地域の人が作り届ける方法もある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■親子食堂</li> <li>• コロナの状況を見ながら実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 地区社協</li> </ul>
安心・安全	防災	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 避難行動要支援者名簿について、連携が遅れている。</li> <li>• 個人情報などを大事にしながら、自治会、コミ協、老人クラブで助け合う地域づくりを考えていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■避難行動要支援者</li> <li>• 関係者（コミ協・自治会・民生委員等）で連携</li> </ul>	

個人情報	取り扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>どこに支援が必要な人がいるか、どのような状況の人がいるのかわからない。</li> <li>個人情報の取り扱いなど時代が変わったなら、行政も変わった形に合わせた対応を考えなくてはならない。</li> <li>家族表がないと把握できない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■家族表の必要性</li> <li>作成の仕方を検討 (個人情報にも配慮)</li> </ul>	
育成	視察・研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>他地区に視察に行き、研修を行いたい。</li> <li>サロンの運営はコロナ禍で苦勞しており、以前実施していた役員の視察研修は息抜きにもなり、そういう機会も必要である。</li> <li>地域の情報交換は大事であり、地域の行事に参加していくことでつながる。</li> <li>時代に沿ったものを検討していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■視察研修</li> <li>感染対策を工夫して実施を検討</li> <li>役員の意欲低下の防止</li> </ul>	地区社協



		評価・課題	取り組み	
見守り	地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>割町や古津でオレンジキャップを活用いただき、まとまった人数で被っていると目立っていてすばらしい。</li> <li>町内ごとに見守り隊ができるとよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ながら見守り</li> <li>・ジャンパーを作成し、取り組みを強化する</li> </ul>	地区社協
	全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治会・町内会で見守りについてわからないところがあるのではないか。</li> <li>見守りの目的を整理し、次なる行動につなげるためにも、自治会・町内会長、地区社協、民生委員の情報交換があるといい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■見守り活動の推進</li> <li>・広報誌や常任委員会での活動の周知と連携</li> </ul>	
居場所	高齢者	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内ごとに茶の間が立ち上がってほしい。</li> <li>金津地域全体に茶の間が広がっているので、情報交換を年1回やっていきたい。</li> <li>高齢者だけを対象とするのではなく、対象を限定しないことで顔がみえるつながりづくりを目指している。</li> <li>高齢者だけだと人数が減ってきているので、他のお茶の間のやり方を聞くと参考になる。</li> <li>コロナ禍でも感染対策をして、毎月趣向を変えて開催している。</li> <li>高齢者に役割を持ってもらうことで、参加人数も減らずに継続出来ている。</li> <li>個別に声かけをして誘うことで見守りにもなっている。</li> <li>老人クラブでも茶の間をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■地域の茶の間いっぱい</li> <li>■助成金</li> <li>■茶の間の情報交換</li> </ul>	地区社協
	子ども	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども食堂も検討したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■子ども食堂の検討</li> </ul>	地区社協

		評価・課題	取り組み	
健康	健康増進	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康増進の意識の向上につながる各事業を実施した。</li> <li>日曜に開催し、親子で参加できる工夫をした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■安全運転サポート講座</li> <li>■作品展 <ul style="list-style-type: none"> <li>健康増進の意識向上</li> </ul> </li> <li>■ラジオ体操講習会</li> </ul>	<p>コミ協</p> <p>西古津自治会</p>
安心・安全	防犯	<ul style="list-style-type: none"> <li>通学路の点検をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■防犯カメラ設置 <ul style="list-style-type: none"> <li>点検を行っていく</li> </ul> </li> </ul>	<p>コミ協</p>
	防災	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミ協の防災訓練には全町内が参加し、連携が取れている。</li> <li>避難行動要支援者名簿は限られた人しか共有できないが、災害時支援のために工夫して個人情報共有できるとよい。</li> <li>災害時の民生委員の対応について検討している。</li> <li>ハザードマップが活用されず、自分の地域を把握していない方が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■防災訓練 <ul style="list-style-type: none"> <li>学校と連携</li> </ul> </li> <li>■講演会</li> <li>■避難行動要支援者への対応</li> </ul>	<p>コミ協</p> <p>コミ協 民生委員</p>
育成・連携	後継者	<ul style="list-style-type: none"> <li>人材の確保が難しく、役員のなり手がいない。</li> <li>1年で町内の役員が交代するところが多く、引継ぎはしているけれど、詳しいところまでは分からない。</li> </ul>		
	自治会町内会	<ul style="list-style-type: none"> <li>支え合いをするためには近所づきあいが全てだと思いが良い方法論がなく、そこを支援してほしい。</li> <li>隣組の発想がない世代をどうしていくかが気になることである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■支え合いの支援</li> </ul>	

		評価・課題	取り組み	
育成・連携	自治会 町内会	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治会・町内会に福祉を専門としている人は少なく、どこまで協力体制が取れるものか。</li> <li>コミュニティ活動（祭りや防災訓練など）をしっかりと行うことで人間関係が構築されるので、知恵と工夫で前向きに考える。</li> </ul>		
	連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>声を出した人は良いが、声を出したくても出せない人の声なき声を吸収したい。</li> <li>少子高齢化が進んでおり、高齢者福祉、学校や地域、各専門部が一体となり、やるべきことは何かを考えていく。</li> <li>自治会よりも老人クラブが主体となっているところがあるので、連携の中に老人クラブも入れたほうが良い。</li> </ul>	<p>■連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自治会・町内会長、コミ協、民生委員、地区社協、老人クラブで情報共有</li> </ul>	

福祉懇談会（小須戸地区）	出席者
	小須戸コミ協 木村会長、佐藤副会長、長谷川副会長、大貫事務局長 福祉部会 長澤部会長、坂井部員、吉村部員、田中部員、白井部員、米田部員、川瀬部員、五十嵐部員、金子部員、又地部員、荒井部員、三浦部員 地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員 土屋委員 小合・金津・小須戸圏域支え合いのしくみづくり会議 白井構成員、大貫構成員 秋葉区健康福祉課 相馬課長、斉藤係長 秋葉区社協 坂井事務局長、横山事務局長補佐、市橋、藤田、時田
日時：令和4年7月27日（木）14:00～15:00	
会場：小須戸まちづくりセンター	

		評価・課題	取り組み	
高齢者	見守り	<ul style="list-style-type: none"> <li>どこまで聞いてよいのかわからず、困っているかどうかわからない</li> <li>困っている人が声を出しやすい地域にしたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■おせち料理配食事業</li> <li>■友愛訪問事業</li> </ul>	民生委員 コミ協（福祉部会） 中学生
	居場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>おしゃべりの場を楽しみにしている</li> <li>茶の間に来ている人はそれなりに自分の健康管理ができています</li> <li>コロナ禍で交流の機会が減少した</li> <li>参加者が減少している</li> <li>内容がマンネリ化している</li> <li>他の茶の間との情報交換をしたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■地域の茶の間               <ul style="list-style-type: none"> <li>内容を検討する必要有</li> </ul> </li> <li>■ほっとカフェ               <ul style="list-style-type: none"> <li>サークル活動の発表等検討</li> </ul> </li> </ul>	コミ協（福祉部会）  コミ協（福祉部会） サークル



		評価・課題	取り組み	
高齢者	居場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍でランチができない</li> <li>・高齢者クラブと地域の茶の間で似ている活動をしているので、情報共有や連携するといい</li> <li>・体調が思わしくなく外出したくてもできない人もいる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■だんだん嶋岡 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ランチの再開</li> <li>・地域との連携</li> </ul> </li> <li>■情報共有 <ul style="list-style-type: none"> <li>・各サロンと情報交換</li> <li>・サロンや自治会での様々な取り組みのつながり</li> </ul> </li> </ul>	だんだん嶋岡
	生活支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お手伝い隊を発足し、草刈りや剪定を実施できた</li> <li>・利用者の希望に添えるように広げる必要性を感じた</li> <li>・生活支援を進めたいが移送に問題がある</li> <li>・スタッフだけで買い物支援は限界がある、自治会町内会、民生委員の力も必要</li> <li>・町内（自治会）では除雪ができない</li> <li>・除雪の組織づくりが必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■お手伝い隊 <ul style="list-style-type: none"> <li>・周知方法の検討</li> <li>・活動内容の検討</li> </ul> </li> <li>■だんだん嶋岡 <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活支援の検討</li> </ul> </li> <li>■除雪の組織づくり</li> </ul>	コミ協（福祉部会） ボランティア  だんだん嶋岡
	移動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢になると心配なのは足</li> <li>・買い物、通院等移動する手段がない</li> <li>・免許返納後の足の問題</li> <li>・移動支援が必要</li> <li>・緑花園の送迎車を借りられる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■移動支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設と連携</li> <li>・内容等について情報共有</li> <li>・事務局の検討</li> <li>・方法の検討</li> <li>・自治協との連携</li> </ul> </li> </ul>	

		評価・課題	取り組み	
中学生	社会参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>おせちを中学生と一緒に届けているが、中学生ボランティアが減少している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■おせち料理配食事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>中学生の意識醸成</li> </ul> </li> </ul>	コミ協（福祉部会） 中学校 地域教育コーディネーター
	居場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学生の居場所ができた</li> <li>アンケートでまた開催してほしいとの声があった</li> <li>参加者が固定化している</li> <li>子どもだけでは何をしたらいいかわからず、大人のサポートがまだ必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■サードプレイス <ul style="list-style-type: none"> <li>周知方法の検討</li> <li>内容について子どもの声を反映</li> </ul> </li> </ul>	コミ協（環境・教育部会）
障がい者	交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>小向夏祭りでワークセンターほほえみと地域との交流があったが、コロナ禍で祭りが中止となり子どもたちと障がい者のふれあいがなくなった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■障がい者と地域との交流</li> </ul>	
防災・安全	防災	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難所運営など自治会と情報交換できた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■避難所運営の確立</li> </ul>	コミ協（防災部会）
	安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの見守りを強化できた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■子どもの見守り <ul style="list-style-type: none"> <li>継続実施</li> </ul> </li> </ul>	コミ協（防犯部会）

		評価・課題	取り組み	
育成	後継者育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 講座参加をきっかけに住民同士がつながり、事業へとつながった</li> <li>• サードプレイスをきっかけに若い世代が入りコミ協内も活性化した</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ コミ協活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 次世代に伝える</li> </ul> </li> </ul>	コミ協
連絡・連携	相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 相談窓口が分からない</li> <li>• 秋葉区社会資源一覧の配布先が分からない (支え合いのしくみづくり会議作成)</li> </ul>		
	自治会運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自治会長の会合参加率が高い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 住民同士の信頼関係の構築 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 強化</li> </ul> </li> </ul>	

福祉懇談会（山の手地区）  日時：令和4年8月5日（金）1900～2030 会場：小須戸地区ふれあい会館	<b>出席者</b> 山の手コミ協：横山会長、森副会長、又地副会長、保科事務局長、春日事務員 防災・防犯部：坂野部長、古泉副部長、環境部：高野部長、福祉部：五十嵐部長、増井副部長 健康スポーツ部：五十嵐部長、白木副部長、ふれあい事業部：村上部長 鎌倉自治会：中野会長、松ヶ丘自治会：加藤会長、地縁団体矢代田地区：阿達副区長、 矢代田第1自治会：小林会長、矢代田南自治会：村上会長、矢代田北自治会：風間会長、 矢代田第12自治会：加藤会長、舟戸1,2自治会：渡邊会長、舟戸3丁目自治会：西脇会長 秋葉区健康福祉課：相馬課長、斉藤係長 秋葉区社協：坂井事務局長、横山事務局長補佐、市橋、藤田、時田

		評価・課題	取り組み	
安心安全	防災	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災学習会を行い、分かりやすく学べた</li> <li>・防災スマホ講座を行い、参加者から好評だったが定員に達しなかったため、もっと周知するとよかった</li> <li>・みんなに分かりやすいよう、避難行動要支援者名簿を「助けてもらいたい名簿」と呼んでいる</li> <li>・個人情報であるため共有することができず、災害時、避難行動要支援者への対応ができるか不安</li> <li>・避難指示が発出されて避難所を開設したが、自治会との連携が取れず、避難してくる人もいなかった</li> <li>・コロナ禍ではあるが、防災訓練を実施できた</li> <li>・防災訓練がマンネリ化している</li> <li>・今までは全員の安否確認を行っていたが、要支援者の確認だけでもよいのではないか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■防災訓練               <ul style="list-style-type: none"> <li>・小須戸地区合同防災訓練</li> <li>・自治会ごとの防災訓練</li> <li>・安否確認の見直し</li> </ul> </li> <li>■ふれあい夏まつり</li> <li>■避難行動要支援者への対応</li> </ul>	コミ協（防災防犯部） 自治会  コミ協（ふれあい事業部）
	防犯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯パトロール実施</li> <li>・矢代田小の新生へ防犯ブザーを贈呈</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■防犯パトロール</li> <li>■防犯ブザー贈呈</li> </ul>	コミ協（防災防犯部会）

		評価・課題	取り組み	
子ども	交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあい会館や矢代田駅の花植え活動を矢代田小の児童と行い、交流ができています</li> <li>・ふれあい夏まつりでは、準備の段階から若い世代に入ってもらえるようPTAと連携し、後継者の育成にもつながっている</li> <li>・イルミネーション事業やパイナップル卒業式などは他の学校から参考にしたいとの問い合わせが多い</li> <li>・コロナや不審者対策等の影響で子どもの元気がなく挨拶も減っている</li> <li>・世代間の交流が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■花いっぱい運動</li> <li>■ふれあい夏まつり</li> <li>■イルミネーション事業</li> <li>■パイナップル卒業式</li> </ul>	<p>コミ協（環境部）</p> <p>コミ協（ふれあい事業部）</p>
	除雪	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通学路の除雪を10年続けているが、高齢化により難しくなってきた</li> <li>・通学路は行政、個人宅は地域などと役割分担が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■通学路の除雪</li> <li>・後継者の育成</li> </ul>	自治会
高齢者	見守り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生、民生委員と協働でおせち料理の配食をしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■おせち料理配食事業</li> </ul>	<p>コミ協（健康福祉部）</p> <p>民生委員</p>
	居場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化により参加人数が減少している</li> <li>・若い世代が入ってこない</li> <li>・コロナでイベントを中止した</li> <li>・何かやりたいけど何をしたらよいか分からない</li> <li>・マスク着用で顔が見えず、誰か分かりにくい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■地域の茶の間</li> <li>・内容の検討</li> </ul>	コミ協（健康福祉部）
	生活支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年は13件の依頼があった</li> <li>・定年延長等で仕事をしている方が多く、後継者が育たない</li> <li>・他地区の取り組みを参考に活動を広げていくとよい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■やろうてば、人知笑会</li> <li>■研修会</li> </ul>	コミ協（健康福祉部）
	移動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・免許返納で移動手段のない高齢者もいる</li> <li>・デマンドバスについてアンケート調査を行った</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■移動支援</li> </ul>	

自治会	引継ぎ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自治会長の任期が2年で引継ぎが大変</li> <li>• 引継ぎの内容が膨大で、全てを伝えるのが困難</li> <li>• 引継ぎが上手くいかず、自治会運営が難しくなってきた</li> <li>• 引き継ぎを上手くできるように役員と組長の任期を1年ずらしている</li> <li>• 新任の会長には負担が大きく、町内の課題解決までは手が回らない</li> <li>• 自治会と地縁団体矢代田の役割を明確にした</li> <li>• 「福祉とは」「地域福祉計画とは」が分からず、福祉活動を手探りでやっている</li> <li>• 引継ぎしやすいように簡単に手順等を示したマニュアルなどがあるとよい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■引継ぎの工夫</li> <li>• マニュアルの簡素化</li> </ul>	
	支え合い	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 組によって温度差があり、地域をよくしようという意識に差がある</li> <li>• 新しく来た方、昔からいる方の関係ができていない</li> <li>• 高齢化により隣組が機能していない</li> </ul>		
環境	マナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ごみ出しのルールが守られていない</li> <li>• 他人事の意識が強く誰もきれいにしない</li> <li>• コロナの影響で不法投棄の回収作業は中止としたが自主的に取り組んでくれた</li> <li>• 里山が実は荒れていて、公園など目立つところ以外に目がいていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ごみ出しのルール化</li> <li>■里山の手入れ</li> </ul>	自治会

		評価・課題	取り組み	
環境	交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 花を植えて終わりではなく、水やりやゴミ拾いも行っている</li> <li>• 門松づくりは希望者も多く人気</li> <li>• 公園の草刈りをみんなで行った</li> <li>• 個人所有の里山の手入れをみんなで行った</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■花いっぱい運動</li> <li>■ミニ門松づくり</li> </ul>	コミ協（環境部）  自治会
健康	身体づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 参加者が固定化している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■山遊さん</li> <li>■ニュースポーツ</li> </ul>	コミ協（健康スポーツ部）

地区名 **新津中央地区**

<p>今年度の取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉懇談会（8/5、2/14） ・コミ協健康福祉部今年度打合せ（5/23、6/24、9/26）</li> <li>・三善道居場所立ち上げ打合せ、ワークショップ実施（5/25、6/16、7/7、7/25、8/18、9/5、9/22） 子どもの居場所：夏休み6回開催、高齢者：10/1～週一開催</li> <li>・コミ協：ラジオ体操（平日毎日実施）、ラジオ体操3周年記念事業（12/15）</li> <li>・ゴミ出し支援事業反省会、情報交換会：秋葉2丁目、秋葉3丁目（町内独自事業）</li> <li>・コミ協、福祉事業所（ツクイ）情報交換会（7/7） ・緊急情報キットとりまとめ、検討</li> <li>・本町2-1町内会、企業（明治安田生命）合同清掃活動（7/3）、・自学ひろば21回（予定）</li> </ul>
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラジオ体操は参加する人が固定化してきた。周知方法について検討できると良い。</li> <li>・田家2丁目町内会内には5つの団体があるが活動が衰退している。横のつながりが無い。</li> <li>・新津本町3丁目は3つの町内会が一つになったけどみんなで集まる場所がない。</li> <li>・コロナの関係で、行事に子どもたちの参加が少ない。子どもたちは外に出たいと思っている。</li> <li>・どんな場所でも参加するには何かしらのつながりが無いと参加しづらい。仲間になれるようなしくみづくりが必要。</li> <li>・市のごみ出し支援事業はお手伝いする人から報告書が面倒と言われている。</li> <li>・中学生の地域活動を学校が指導することは難しい。教育コーディネーターがつなぐ必要がある。</li> </ul>
<p>評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三善道でつながりづくりの場として高齢者の居場所を立ち上げることができた。この中で子どもたちとの交流を考えることでPTAともつながることができた。参加者や地域の声を聞くことが大切であることから広報誌の定期発行やYouTube配信などPRに力を入れている。</li> <li>・ラジオ体操は休まないで継続して取り組むことができた。</li> <li>・田家2丁目では、自治会と民生委員で情報交換を行い、課題があれば個別に対応している。</li> <li>・秋葉3丁目では、ゴミ出しや除雪支援を実施している。若い人からも協力をして頂いて、利用者からは感謝されている。やってよかったと思う。善道町でも通学路やヘルパー訪問宅を除雪している。（除雪機を取り入れたことで格段に速く作業ができるようになった。）</li> <li>・自学ひろばは地域の協力で実施できている。他でも顔を合わせることで絆が深まっている。</li> </ul>
<p>活動の様子</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>ラジオ体操</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>三善道 高齢者サロン</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>三善道 子どもの居場所</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>秋葉2丁目 ゴミ出し支援 反省会</p> </div> </div>
<p>次年度へ向け</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三善道はつながりの場として継続していく。若い人や新しい人にも役割がもてるようにする。年齢に関係なく覗いてみてもらい参加に結び付くようにしたい。</li> <li>・ラジオ体操は周知について検討したい。 ・自学ひろばの継続 ・祭りが開催できると良い</li> <li>・ゴミ出しや除雪支援について継続して取り組みたい。</li> <li>・除雪活動（通学路等）は学校へ伝えていくことが大切（子どもたちの声を入れたYouTube配信や、1日・15日の広報時にQRコードをつけて配信するなど工夫をする）</li> <li>・中学生が地域活動に参加できるように教育コーディネーターがつなぎたい。</li> </ul>

〔参加者〕新津中央コミ協：中村会長、小林副会長、小野沢副会長、辻川会計、三澤健康福祉部長（支え合いのしくみづくり構成員）、地域教育コーディネーター：山口コーディネーター（一小）、菅井コーディネーター（一中）、秋葉3丁目町内会：安達会長、秋葉区社協：横山、加藤



地区名 **新津西部地区**

<p>今年度の取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉懇談会（7/27、12/12）</li> <li>・今後についてのうち合わせ（8/29）コミ協、社協</li> <li>・おせち料理配食（見守り）打合せ（5/19）コミ協、地区社協、地区民協</li> <li>・山谷1丁目町内会：避難行動要支援者に対する日頃の支援情報交換（町内会、専門職、社協）</li> <li>・ビジネスみゆき（美幸町町内会）情報交換会（9/14）活動数16回（11/未現在）</li> <li>・緊急情報キット推進（山谷町1丁目町内会、ほか随時配布）</li> <li>・新栄町町内会情報交換会（9/28）テーマ「移動に関する課題」町内会、各居場所代表者福祉事業所（ほっとサポートしんえい）との情報交換会</li> </ul>
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍も重なって、外に出ない人が多い。話をしたい人が多い。</li> <li>・市営、県営の閉じこもりがちな一人暮らし高齢者も参加できるように、移動に関する検討を続けたい。</li> <li>・緊急情報キットの趣旨や使い方を理解したうえでの活用が広がると良い。活動の周知や更新の在り方を継続して検討していく必要がある。孤立死、孤独死からの観点からも緊急連絡先等確認できると良い。</li> <li>・活動やつながりを進めることでフレイル予防を進める必要がある。</li> <li>・高齢化に伴う除雪の問題</li> </ul>
<p>評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活支援「ビジネスみゆき」の活動チラシを全戸配布できた。口伝でもあり、活動に広がりが出てきた。支援側として若い役員も参加してくれている。作業も大事だが、人とのつながりが大事。また、役割があることの大切さも確認できた。</li> <li>・新栄町で移動に関する情報交換会を開催できた。地元の施設とはつながりがあるので、いい取り組みができるように感じる。これからは、会場に来るまで支え合う地域づくりをしたい。</li> <li>・緊急情報キットについて、美幸町では長寿会と民生委員と連携して配布することができた。</li> </ul>
<p>活動の様子</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center; margin: 5px;">  <p>みゆきビジネス活動</p> </div> <div style="text-align: center; margin: 5px;">  <p>おせち（見守り）情報交換</p> </div> <div style="text-align: center; margin: 5px;">  <p>山谷1丁目町内会と専門職との情報交換</p> </div> <div style="text-align: center; margin: 5px;">  <p>新栄町町内会移動に関する情報交換</p> </div> </div>
<p>次年度へ向け</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活支援（美幸町）、移動支援の検討（新栄町）の継続</li> <li>・居場所の立ち上げ検討（天神、美善町）</li> <li>・緊急情報キットの推進（周知、更新に関する検討、新民生委員への説明会）</li> <li>・つながりの機会や見守り活動の推進。（フレイル予防、飼い犬等を介したコミュニケーション等の工夫が必要）</li> <li>・おせち配食事業（見守り）に関する検討会継続</li> <li>・町内会、自治会が必要とする取り組みへの支援 等</li> </ul>

[参加者] 新津西部コミ協：蓮沼会長、内田副会長、小松副会長、小菅副会長、斉藤事務局長、江口事務局、新津西部民協：長井副会長、秋葉区社協：横山、吉岡

地区名 荻川地区

<p>今年度の取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉懇談会（8/2、1/19）</li> <li>・川口子どもの居場所立ち上げ打合せ（4/16、5/21）、ワークショップ等開催（川口町内会、PTA、有志、コミ協、老人クラブ）、7/14～立ち上げ、荻川子ども食堂との連携 名称：ほうかご広場の</li> <li>・地区社協今年度打合せ（4/22、8/31、9/30、10/6、11/15、12/14）</li> <li>・地区社協、藤の木原福祉会移動支援に関する情報交換会（6/13、10/28）</li> <li>・おせち料理配食（見守り）打合せ（6/21）地区社協、民協</li> <li>・荻川地域福祉推進連絡会議「地区別計画の推進」（6/24、11/25）</li> <li>・荻川子ども食堂、出張川口：ほうかご広場（7/27、12/17）合計 100 食</li> <li>・おぎかわあったかネット（見守り活動）16 自治会、町内会</li> <li>・地域の茶の間「やすらぎの間」運営（週1開催）</li> </ul>
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おぎかわあったかネット：取り組み町内会が増加した一方で、コロナ禍で停滞している町内もあり、自治会・町内会との更なる連携が必要である。</li> <li>・荻川やすらぎの間：利用者の高齢化に伴い参加者が減っている。新しい人を増やしたい。コロナが壁となり、藤の木原福祉会による送迎の実現に至っていない。</li> <li>・荻川子ども食堂：定着できるよう PR を広げたい。月1回開催したいが資金面が課題である。</li> <li>・子ども達も地域の一員として地域を考える場が必要。</li> <li>・民生委員の見守り活動のなかで、対応に難しさを感じている。認知症、身寄りの無い人など状況が深刻になってきている。</li> </ul>
<p>評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おぎかわあったかネットの対象者が多い町内では、つながりが広がっている。対象者の反応から、重要な取り組みだと実感できた。</li> <li>・荻川やすらぎの間の送迎や一時避難所について、藤の木原福祉会と地域連携を図ることができた。</li> <li>・「荻川地域福祉推進連絡会議」を開催し、地域福祉活動計画について共通認識が持てた。</li> <li>・川口ほうかご広場が立ち上がり、結小区にも子どもの居場所ができた。全児童にチラシ配布し、参加者が増えた。また、荻川子ども食堂と連携して川口でも子ども食堂を開催することができた。</li> </ul>
<p>活動の様子</p>	
<p>次年度へ向けて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おぎかわあったかネット拡充の検討（自治会・町内会、民生委員、老人クラブ等と連携）</li> <li>・荻川やすらぎの間と藤の木原福祉会が連携した移動支援や利用者増についての検討</li> <li>・子ども食堂と子どもの居場所の連携を継続</li> <li>・「荻川支え合いフォーラム」を開催し、中学生と共に地域福祉を考える場にしたい。</li> <li>・緊急情報キットの配布、情報内容の更新を継続 ・防災「我が家の避難所」の継続</li> </ul>



[参加者] 荻川コミ協：加納副会長、窪田副会長、本間会計、荻川地区社協：関代表、星副代表、関道子副代表、石井さん、曾我さん、五十嵐さん、荻川地区協議会：田中副会長(あおば通町内会会長)、伊藤さん(荻島自治会会長)、木村さん(車場町内会連合会会長)、荻川民協：中野会長、田辺副会長、支え合いのしくみづくり会議：和田構成員(車場寿会会長)、区老連荻川協議会：久保田会長(荻島荻友会会長) 秋葉区社協：加藤、藤田

地区名 満日地区

<p>今年度の取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・買物送迎支援について打合せ（6/16、6/24、6/30、7/22、9/29、10/18、11/18）コミ協・自治協・癒しの福祉連絡協議会</li> <li>・地域福祉懇談会（9/18、2/12）</li> <li>・来年度の計画について打ち合わせ（11/11・11/22）福祉健康部会</li> <li>・認知症講座（6/30・10/14）</li> <li>・声掛け訪問・見守り活動（随時）地区社協</li> <li>・満日地区文化祭（10/30）</li> </ul>
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・買物送迎支援の試行運行が大雪で1回しか実施できなかった為、3月の本格実施を通して、参加者、施設の声を聞きながら今後進める必要がある。</li> <li>・認知症の理解は引き続き進める必要がある。また、認知症講座については思っている以上に人が集まらなかった。今後認知症講座の周知や内容も検討していく必要がある。</li> <li>・文化祭のアンケートを取ったところ、開催時間が短いとの意見があった。</li> <li>・親子で安心して遊べる場が少ない。子どもが参加できるイベントを企画し、世代間交流の場を作っていく必要がある。</li> <li>・健康講座の参加者が少なかったことから、若い世代にも参加してもらおう工夫が必要である。</li> </ul>
<p>評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・買物支援実施後、地域の声を聞く中で買物支援の必要性を感じることができた。</li> <li>・認知症の講座は予定通り実施できた(1回約30人の方が参加された)</li> <li>・買物送迎支援について、参加者からは楽しんでいた印象を受けた。大きな問題もなかった。</li> <li>・買物支援でつながった福祉施設へ文化祭の出展など協力をお願いしたところ、当日沢山の方の来場があった。また癒しの福祉ゾーンの文化祭にも地域で出展したことでつながりが深くなった。</li> </ul>
<p>活動の様子</p>	 <p>The collage consists of four photographs. From left to right: 1. A person assisting another person into a small white car, labeled '買物送迎' (Shopping Support). 2. A group of people sitting around a table in a meeting, labeled '地域福祉懇談会' (Regional Welfare Discussion Meeting). 3. A person presenting at a table during a lecture, labeled '福祉健康部会' (Welfare Health Committee). 4. A group of people sitting at tables in a room, likely during a cultural festival.</p>
<p>次年度へ向けて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・買物送迎支援試行運行を1回しか実施できなかったため3月の本実施2回を終えた時点で、参加者から集まってもらい要望等の意見交換を検討する。その後福祉施設側と今後の実施要項について検討する。</li> <li>・認知症講座については来年度も継続していく予定。また、どうしたら参加者が増えるかを検討する。</li> <li>・文化祭は土日の2日間で検討する。</li> <li>・健康講座について現在講師の関係で金曜に開催していたが、若い世代の方も参加してほしいので土曜に実施できるよう検討する。</li> <li>・親子ふれあい広場を実施予定。年2回夏と秋のあまり暑くならない時期に検討する。</li> </ul>

[参加者] 満日コミ協：長谷川会長、菅井副会長、皆川副会長、柳澤副会長、帆苺会計、杵鞭七日町町内会会計、杵鞭事務局長、坂爪事務局次長、田中参与、渡辺総務部長、小檜山教育・文化部長、昆環境・安全部長、高橋福祉・健康部長  
 秋葉区社協：横山事務局長補佐、吉岡 SC

地区名 新津東部地区

<p>今年度の取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初夏の新津川遊歩道を歩きましょう（6/4）</li> <li>・アンケート調査の実施（7/4）コミ協、地区社協</li> <li>・ゴミ出し支援事業の情報交換（7/23 新町連合町内会、9/16 新津清掃社）</li> <li>・地域福祉懇談会（8/18）</li> <li>・今後についての打合せ（8/29）コミ協、地区社協</li> <li>・第 14 回ふれあい健康づくりの集い（10/8）</li> <li>・相談一覧表作成のための打合せ（10/31、11/30）コミ協、地区社協</li> </ul>
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナで人との関わりが減少。人と顔を合わせる機会、繋がる機会を継続して作っていく必要がある。</li> <li>・サロンや行事参加者がいつも同じ。広報の仕方、継続して参加してもらえる工夫の検討が必要。</li> <li>・自治会単位での災害時を含めた助け合いの仕組みを作っていく必要がある。</li> <li>・孤独死があったことから、地域で状況を把握し、コミ協・自治会で見守り活動を考えていけると良い。</li> </ul>
<p>評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「初夏の新津川遊歩道を歩きましょう」では若い方から高齢者まで多世代に渡り昨年を上回る 200 名を超える参加をいただいた。</li> <li>・秋も開催してほしいとの声も聞かれ、このような事業の中で新規参加者の輪を広げられ健康づくりにもつながる良い取り組みになった。</li> <li>・災害時を含めた見守り活動の仕組みについて検討している。（草水町内会）</li> <li>・アンケート調査をもとに、相談一覧表を作成。全世帯に配付予定。</li> <li>・福祉委員制度があり、協力・積極的に動いてくれている。</li> </ul>
<p>活動の様子</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>地域福祉懇談会</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>相談一覧表作成のための打合せ</p> </div> </div>
<p>次年度へ向け</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「初夏の新津川遊歩道を歩きましょう」は、人との繋がり機会として来年も継続して開催する。</li> <li>・「健康づくり」の集いは、新規参加者の増加に繋がるよう、内容を検討する。</li> <li>・秋葉区内の資源(山・川など)を活用した繋がり機会などについて検討する。</li> <li>・サロン運営の一助として各町内で実施しているサロン同士の交流の機会と総会時にコミ協から助成を受けているサロンより事例発表を行ってもらうなど検討する。</li> <li>・町内で見守りの仕組みをつくり、コミ協が町内の見守り活動を支えていけるようなシステムについて検討する。</li> </ul>

[参加者] 新津東部地区社協：古川会長、石澤副会長、和泉委員

秋葉区民生委員児童委員：小林会長、木津副会長、馬場副会長、中野委員

秋葉区社協：坂井事務局長、佐藤地区担当、吉岡 S C

地区名 阿賀浦地区

今年度取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の取り組みについて打ち合わせ（6/3、7/13）コミ協、構成員</li> <li>・地域福祉懇談会（8/25、1/23）</li> <li>・緊急情報キットの新規配付及び更新の周知（9/1～）各自治会町内会</li> <li>・坂口安吾 誕生記念講演会（10/9）他講座等 コミ協</li> <li>・秋季フロアカーリング大会（11/6）コミ協</li> <li>・今後についての打合せ（11/24）コミ協</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急情報キットに関して回覧板で回したが希望者が5件しかなかった。読んでほしい人にきちんと読まれていない実態がある。[中新田自治会]</li> <li>・緊急情報キットの主旨や使い方を理解したうえで活動の周知や更新の在り方を継続して検討していく必要がある。</li> <li>・緊急情報キットについての理解がない(効果がわからない)配った人も内容がわからないので説明ができない。</li> <li>・地域の体制の見直しが必要。(分区長の名前も分からない人が沢山いる)実施していることに興味を持ってもらえない。[新金沢町自治会]</li> <li>・自治会役員も一緒になって見守りをやっていく必要がある。</li> </ul>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急情報キット対象者には回覧ではなく直接訪問して声掛けを行った。</li> <li>・各自治会でキットの配付方法は異なるが「見守り」に対して同じ方向を向いており地域に住む方を大切に考えていることがわかった。</li> <li>・老友会だけでなく自治会,共に協力する方向で進めることの確認ができた。[東金沢町自治会]</li> </ul>
活動の様子	 <p style="text-align: center;">地域福祉懇談会</p>
次年度へ向け	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に住む全ての方に自治会町内会の活動を共通認識してもらう方法について検討[コミ協]</li> <li>・緊急情報キットの趣旨、使い方・活用方法伝達の為の内容と説明会の検討。[コミ協]</li> <li>・社会福祉部の立ち上げ検討(見守り体制、困りごと、キット取り組みなど行う)。[東町自治会]</li> <li>・一人暮らし高齢者調査実施[東町自治会]</li> <li>・まちづくり検討会(懇談会・ワークショップ・研修会)開催について検討。[東町自治会]</li> <li>・老友会と自治会が協力して実施する見守り活動の推進[東金沢町自治会]</li> <li>・緊急情報キットを含む見守りのしくみについての検討[新金沢町自治会]</li> </ul>

[参加者] 阿賀浦コミ協：湯田事務局長、鈴木社会福祉部委員、高橋社会福祉部委員

新金沢町自治会：柿本会長、重川副会長、田中氏、吉川民生委員


東金沢自治会：遠藤会長、遠藤会計

大安寺自治会：坂口会長、徳永主任児童委員、坂口民生委員

中新田自治会：荒木会長、佐藤民生委員





秋葉区社協：横山事務局長補佐、佐藤地区担当、吉岡 SC

地区名 新関地区

<p>今年度の取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新関安心安全見守り隊と児童の対面式及び集団下校（5/13）</li> <li>・三者合同避難訓練（6/15）</li> <li>・新関防災の日、新関地区一斉防災訓練（6/26）</li> <li>・小口まちづくり委員会会議(9/4、10/30)</li> <li>・地域福祉懇談会（9/15・1/18）</li> <li>・ゴミ出し支援事業の情報交換（6/6 小口、9/16 新津清掃社）</li> <li>・新関ふれあい祭り・作品展（10/15-16）</li> <li>・来年度の取り組みについて打ち合わせ（12/1）会長・副会長</li> </ul>
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会とコミ協の伝達連携の取り方について検討が必要。</li> <li>・地区に住む人で行事に参加したい意思があるが交通の便が悪く参加できないという声がある。</li> <li>・後継者がいない。家庭の事情で役員をすることが困難、変わりの人がいない。</li> <li>・自治会は自治会で仕事があり中々一緒に立ち上げ参加となると難しい。互い負担のないよう役割を分担し共に楽しめる行事を話し合っ共通認識を持てるようにしたい。</li> <li>・立地の問題があり、交通機関の運行なく行事の会場まで行くにも距離があり困難。</li> </ul>
<p>評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童クラブは年々人数も増えている。子どもたちも参画しながら活動を進めることができた。</li> <li>・ふれあい祭り・作品展、防災関係などコミ協と自治会・町内会で役割が明確になっている。</li> <li>・コミ協発の行事(つるし雛)を通じてサロン参加者が増えた。</li> <li>・小学校と連携がとれている。</li> </ul>
<p>活動の様子</p>	
<p>次年度へ向けて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災事業は自治会・町内会が活動しやすいように、コミ協が主導となり新しい取り組み等検討しながら実施する。</li> <li>・利用児童が年々増加していることから児童クラブの運営を強化する。また日々の運営を大切にしながらどの世代でも参加しやすい事業を企画し、子ども達を巻き込むことで多世代交流に繋がるよう検討する。</li> <li>・事業目的・開催について共通認識を持つことができるようコミ協と自治会・町内会の話し合いの機会を設ける。</li> <li>・移動支援について検討する。</li> </ul>

[参加者] 新関コミ協：渡辺会長、長谷川副会長、福祉健康部松屋会長、福祉健康部繁野副会長、防災部間会長、山崎会計、松田児童クラブ運営部長、吉田事務局、安心安全部土田会長  
 秋葉区社協：坂井事務局長、佐藤地区担当、吉岡 SC

地区名 小合地区

<p>今年度の取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉懇談会（8/4、1/27）</li> <li>・地区社協三役との打ち合わせ（10/18 見守りについて、11/22 家族票について）</li> <li>・小合地区社協役員会（6/5、11/9、1/21） ・なじらて訪問（7/10～8/10、12/1～12/31）</li> <li>・認知症講演会（7/24） ・サロン代表者会議（5/28）</li> <li>・ふれあい福祉サービス（住民参加型の助け合い活動）出張説明会（8/20）</li> <li>・川根サロン立ち上げ検討会（10/2） ・おせち料理配食事業（12/7 打ち合わせ会、12/30 訪問）</li> </ul>
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なじらて訪問でつながりができてきたが、訪問の頻度や役員以外とのつながり、見えてきた困りごとに対応する生活支援等検討できるとよい。</li> <li>・見守りに取り組む中で緊急連絡先など個人情報の取扱いについて慎重に考えていく必要がある。</li> <li>・サロンも見守りの一つであり、さらに充実させるにはどうしたらよいか。サロンに来れない人への対応や若い人や男性も集まれるような工夫があるとよい。</li> <li>・自治会・町内会長や民生委員児童委員、サロンの連携した取り組みが必要。</li> <li>・地域の中で自然と助け合っているところもあるが、しくみがあるとよいのではないか。</li> </ul>
<p>評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なじらて訪問の取り組みから地域の中のつながりができ、サロンへの参加にもつながった。緊急情報キットの取り組みも再度確認することができた。</li> <li>・おせち料理の配達を通して、民生委員児童委員とサロン代表者や自治会・町内会長の連携が深まった。また、顔見知りの方が届けることで安心感を持ってもらえた。小学校と連携して子どもたちからの手紙を配布し、より温かい気持ちを届けることができた。今後は子どもたちと一緒に訪問も検討したい。</li> <li>・住民の理解を得て家族票の取り組みをしている地区もある。</li> <li>・色々な取り組みや事業の参加がきっかけとなり、顔見知りや顔の見える関係ができてきている。</li> <li>・サロンの活動が活発で、コミ協や地区社協の事業へのサロンの協力は大きい。</li> </ul>
<p>活動の様子</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>ふれあい福祉サービス 出張説明会</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>川根サロン 立ち上げ検討会</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>小合地区社協役員会</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>おせち打ち合わせ会</p> </div> </div>
<p>次年度へ向けて</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①なじらて訪問の充実・拡大&lt;つながりをさらに深めるための方法検討（訪問の在り方や生活支援等検討）、自治会・町内会、民生委員児童委員、サロン、老人クラブと連携した取り組み&gt;</li> <li>②おせち料理配食 &lt;子どもと一緒に配達できるか検討&gt;</li> <li>③サロンを通した見守りの充実 &lt;参加できない人、しばらく休んでいる人への取り組みを考えていきたい、若い世代も参加できる居場所やサロンを検討できるとよい&gt;</li> </ol> <p>→見守りの体制を考えることで顔の見える関係づくりができ、地域が一つになっていく</p>





[参加者]

小合コミ協：古田会長、田村副会長、野瀬山副会長、稲月副会長、丸山副会長、大竹事務局長

小合地区社協：大竹幹事、今井幹事、星野幹事、吉田幹事、高野幹事、江口幹事

小合民児協：渡邊副会長、高橋民生委員 秋葉区社協：横山、藤田、時田

地区名 **金津地区**

<p>今年度の取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉懇談会（8/2、1/31）・見守りについての打ち合わせ（10/11）</li> <li>・おせち料理配食事業についての検討会（5/17、7/13） ・防災訓練（6/26）</li> <li>・ゴミ出し支援事業の情報交換（7/6 金津、7/4 古津、7/11 割町、9/16 新津清掃社）</li> <li>・民生委員・児童委員に係る災害時対応検討会（5/18、8/3、9/29、10/19、11/24）</li> <li>・見守り活動：びいす金津、わんわんパトロール、あい愛訪問、ながら見守り、児童見守り・パトロール（6/20、10/17）</li> </ul>
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見守り訪問の理解が十分ではないところもあり、対象者が増えていかない。</li> <li>・一人暮らし高齢者が増えており、閉じこもりがちの方もいる。</li> <li>・関係機関（自治会・町内会、民生委員児童委員、地区社協、茶の間など）との連携、情報共有が必要。</li> <li>・様々な取り組みがあるが、コミ協と関わりがない人には知られていないことも多いのではないか。</li> <li>・高齢者など一人で避難できない方への対応の検討もしていかなければならない。</li> </ul>
<p>評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見守り訪問を継続していく中で、対象者との信頼関係ができ、上手く会話できるようになった。</li> <li>・子どもの見守りを行う中で、挨拶を通して子どもと交流ができ、不審者の事例もなくなった。</li> <li>・防災訓練の効果もあり、避難指示が出たときに避難所の開設がすぐにできた。避難行動要支援者へ声かけ訪問を実施している地区もある。</li> <li>・コミ協の事業への参加者が多く、地域の絆が深まっている。</li> <li>・茶の間などで高齢者であっても役割を持つと、いきいきと活動できていた。</li> <li>・自治会・町内会と関係機関で守秘義務を守りつつ、地域の情報共有を図っている地区もある。</li> <li>・除雪など隣近所で助け合いができていた。</li> </ul>
<p>活動の様子</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>防災訓練</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>金津民児協 災害時対応検討会</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>見守りについての 打ち合わせ</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>おせち料理配食事業 検討会</p> </div> </div>
<p>次年度へ向けて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見守りの取り組み継続、見守りの整理を行う</li> <li>・地域の様々な団体が連携した地域づくり（自治会・町内会と民生委員児童委員、地区社協、茶の間等）</li> <li>・小学校、中学校とコミ協の連携した取り組みを行い、地域の絆を深める</li> <li>・防災訓練や要支援者への対応の検討（一人暮らし高齢者への声掛け等）</li> <li>・支え合いのしくみづくりの推進（できる人ができることを行えるような工夫等）</li> </ul>

[参加者]

金津コミ協：青木会長、今井副会長、齋藤副会長、植木会計、萱森事務局長

金津地区社協：渡辺委員長、阿部副委員長、岡部会計 金津地区自治会町内会長会：小川副会長

金津地区民児協：茨木会長、太田副会長、長谷川副会長、沼田民生委員、小坂民生委員、小玉民生委員、酒井民生委員、長谷川民生委員、宮崎民生委員、楠原主任児童委員

秋葉区社協：横山、藤田、時田



地区名 小須戸地区

<p>今年度の取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉懇談会（7/27、1/16） ・コミ協三役と今後の取り組みについての打ち合わせ（8/19、9/15）</li> <li>・コミ協福祉部長と今後の取り組みについての打ち合わせ（10/7、10/28）</li> <li>・移動支援検討会（10/12 第1回検討会、12/15 第2回検討会、1/5 事務局との打ち合わせ）</li> <li>・地域お手伝い隊（4/26 説明会、10/20 反省会） ・ワークセンターほほえみとの打ち合わせ（9/22）</li> <li>・小向の茶の間（立上げ相談、7/17 準備会、9/4 立ち上げ） ・小須戸小・中学校生と合同避難訓練（11/12）</li> <li>・おせち料理配食事業（12/14 小須戸中学校との打ち合わせ、12/30 訪問）</li> <li>・だんだん嶋岡（7/27 子どもの居場所、12/13 今後についての打ち合わせ）</li> </ul>
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の影響は大きく、茶の間の参加者も減少している。また、子どもたちも茶の間に参加しやすいよう検討していきたい。</li> <li>・地域お手伝い隊の活動を通して、安全に配慮した活動内容や範囲などの整理と検討が必要である。</li> <li>・ワークセンターほほえみと地域とのふれあいの機会が減っている。地域お手伝い隊の協力もしたい。</li> <li>・地域と子どもとの交流の機会が減少しており、子どもたちの社会参加への関心が低い。</li> <li>・タブレットの普及から子どもたちの対面の交流が少なくなっている。対面での交流も大切であり、子どもたちの意見を取り入れた放課後の居場所について考えていきたい。</li> <li>・コミ協の取り組みが地域に上手く伝わっていない。もっと周知や広報していく必要がある。</li> </ul>
<p>評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内の交流が減少したことで、茶の間の重要性を感じるようになった。町内に茶の間があることで、高齢の方も歩いてくることができている。</li> <li>・地域お手伝い隊を利用された方の声から活動の必要性を感じた。</li> <li>・おせち料理配達の中学生ボランティアが意欲的に取り組んでいた。</li> <li>・移動支援の検討ができた。対象となる高齢者からも関心を持ってもらえている。</li> <li>・避難所運営を通して自治会とのつながりができた。</li> <li>・だんだん・嶋岡で子どもの居場所を開催することができた。</li> </ul>
<p>活動の様子</p>	
<p>次年度へ向けて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の茶の間の運営の検討と活動の継続</li> <li>・地域お手伝い隊の活動の検討（安全に配慮した活動内容、ワークセンターほほえみとの連携）</li> <li>・子どもたちのつながりの場の検討 ・コミュニティスクールとの連携</li> <li>・避難所運営の推進 ・移動支援の検討継続</li> <li>・活動の周知、PR 方法の検討</li> <li>・だんだん・嶋岡での子どもの居場所づくり、生活支援検討</li> </ul>

[参加者] 小須戸コミ協：木村会長、佐藤副会長、大貫事務局長、小須戸コミ協福祉部会：長澤部会長、米田部員、五十嵐部員、地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員：土屋委員、小合・金津・小須戸圏域支え合いのしくみづくり会議：大貫構成員（だんだん・嶋岡）、秋葉区社協：横山、藤田、時田

地区名 山の手地区

<p>今年度の取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉懇談会（8/4、2/2） ・今後の取り組みについての打ち合わせ（10/21）</li> <li>・地域の支え合いのつどい（柏崎市よろんごの木の講演）7/28</li> <li>・ワンコイン（11/17 打ち合わせ、11/26 ワンコインいこてば、こいてば酒場）</li> <li>・おせち料理配食事業（12/14 山の手地区・小須戸中学校打ち合わせ、12/30 訪問、1/21 反省会）</li> <li>・山の手ふれあいまつり（9/23） ・合同防災訓練（11/12） ・花いっぱい運動（5/11、11/18）</li> </ul>
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動を継続していくには協力者が必要になるが、保護者世代のボランティアが少ない。</li> <li>・若い世代で活動を検討し、そこに年配者が協力していくような環境になるとよい。それには仕掛けも必要であり、それが5年後、10年後にもつながっていく。</li> <li>・事業の参加者からは好評だが、いつも同じ顔ぶれになっている。</li> <li>・地域活動に関わる方が増えてほしい。</li> <li>・避難行動要支援者の中には支援を遠慮される方が多く、個別に声を掛けていくことが大切。</li> <li>・自治会で支え合いのしくみづくりを行い、近くで支援していくことが必要になってくる。</li> </ul>
<p>評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの挨拶が素晴らしい。小さい頃から地域の中でコミュニケーションが取れている。</li> <li>・小中学校と連携し子どもたちと一緒に活動する機会を多く作る事ができた。大人になったときに先頭に立ってくれることを期待したい。</li> <li>・ほほえみほのかの前を小学生が通るとき利用者が職員に声を掛けてくれる。</li> <li>・矢代田小のPTAでは部会をなくして、必要な時に呼びかけることで負担感が軽減した。このやり方を地域活動でも取り入れることはできないか。</li> <li>・ワンコインなどまずやってみたら楽しく、それぞれ役割を持ってできた。</li> <li>・前回の福祉懇談会では自治会長に参加してもらい、いろいろな話を聞いてよかった。</li> </ul>
<p>活動の様子</p>	
<p>次年度へ向け</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが人との交流を通して元気でいられるよう、ふれあいまつり等継続</li> <li>・若年層のボランティアを増やし、後継者育成を目指す（学校との連携、子どもの参加で親も参加、部を超えたつながり等） ・自治会や企業と連携した子どもの見守り</li> <li>・小須戸コミ協や小中学校と連携した防災訓練の継続 ・避難行動要支援者に対する確認等を継続</li> <li>・自治会長が参加できるようなテーマを設けた福祉懇談会の開催</li> <li>・ワンコインの周知と世代間交流等の内容について検討</li> <li>・イベントや事業等への参加者を増やす工夫 ・ほほえみほのかと子どもたちの交流の機会を作る</li> </ul>

[参加者] 山の手コミ協：横山会長、又地副会長、森副会長、保科事務局長、春日事務員

防災防犯部：坂野部長、古泉副部長 環境部：高野部長 福祉部：増井副部長

健康スポーツ部：五十嵐部長、白木副部長 ふれあい事業部：村上部長

秋葉区社協：横山、藤田、時田